

英語の単純現在形(-∅/-s)及び モンゴル語の単純非過去形(-na)に関する考察

— 意味・用法を中心に —

MANDAKH Oyunchimeg

1.はじめに

本稿では、現在時及び未来時を表す形式として用いられている英語の単純現在形(ϕ /-s)及びモンゴル語の単純非過去形(-na)の意味・用法を 1.現在状态的用法、2.現在瞬間的用法、3.現在習慣および反復的用法、4.指図を与える用法、5.未来時に言及する用法、6.過去時に言及する用法、7.モンゴル語の単純非過去形(-na)の進行的用法の 7 つに区別し、考察する。

2.英語の単純現在形(ϕ /-s)及びモンゴル語の単純非過去形(-na)の意味・用法

2.1. 現在状态的用法

Quirk et.al. (1985:179)によると、この現在状态的用法には、文(1)のように 1.‘永遠の真理’(eternal truths) (諺、科学及び数学に関する文)を表す文、文(2)、(3)のように 2.無時間的現在 (timeless present) (地理学に関する文)を表す文、文(4)、(5)のように 3.我々の一般的な知識、状態の時間スパンが多かれ少なかれ制限されることを示す意味を含意する文の 3 つの種類がある。

(1) a.The earth moves round the sun.(Quirk et.al.1985:179)

b.Delhii naryig toiron ergene/ergedeg.

(2) a. Peru shares a border with Chile. (Quirk et.al.1985:179)

b.Peru uls Chiltei hil zalgadag/*zalgana.

(3) a.The Nile is the longest river in Africa. (Quirk et.al.1985:179)

b.Nil bol Afrikiin hamgiin urt gol/gol yum.

(4) a.She knows several languages. (Quirk et.al.1985:179)

b.Ter hed heden hel medne/meddeg.

(5) a.We live near Toronto. (Quirk et.al.1985:179)

b.Bid Torontogiin oiroltsoo amidardag /*amidarna

上記英語のモンゴル語訳(1b)~(5b)を見ると対応する形式は単純非過去形(-na)のみでないことが分かる。その要因としては次の 3 点が挙げられる。第 1 に、文(3a,b)のように英語においては主語と述語(名詞、形容詞の場合)を繋ぐ連結詞として用いられる補助動詞‘be’

が不可欠であり、補助動詞‘be’に対応するのはモンゴル語の連結詞として用いられる不変化詞 (particle) ‘bol’、‘ni’、及び補助動詞‘bai-’であり、補助動詞‘bai-’は現在時を表す際頻繁に省略される。第2に、上記の文(1b)、(2b)、(4b)、(5b)のようにモンゴル語において単純非過去形(-na)以外に現在の習慣の意味を表す動名詞語尾(-dag)にも対応することが可能である。モンゴル語においては一般的(generic)、格言的 (gnomic)、現在の習慣的出来事を表すのに、現在の状態を表す単純非過去形(-na)および現在習慣を表す動名詞語尾(-dag)の2つの形式が用いられる。第3に、モンゴル語の非過去時制(-na)は狭い文脈において用いられる際、変化状態を表す動詞つまり運動動詞(bol-, ehle-, ir-, gar-など)の場合は未来時を表し、状態、恒久的な意味を表す動詞(bai-, orsh-, med-, chad-など)の場合は現在時を表す (Бадан 1989:39)。従って、上記の文(4b)、(5b)において用いられたり、用いられなかったりすると考えられる。

現在状态的用法において英語の単純現在形及びモンゴル語の単純非過去形(-na)は両方とも発話時を含めて過去および未来に向かってゆく状態に言及する用法を持っているが、上に述べたように英語の単純現在形に比べてモンゴル語の単純非過去形(-na)はその用法に関してより制限されていることが分かる。

2.2. 現在瞬間的用法

Quirk et.al. (1985:180)によれば、瞬間的現在は動作がおおよそ発話時において始まる、あるいは単一の出来事に言及しその出来事には短い時間の継続性がある場合とそうでない場合があるために、限られた場面においてのみ用いられる。また、それらの場面として、1. 実況解説 (commentaries)、2. 実演解説および他の自己実況解説 (demonstrations and other self-commentaries)、3. 特殊な詠嘆文 (special exclamatory sentences)、4. 遂行文 (performatives) の4種類がある。

2.2.1. 実況解説用法

Williams (2002:1236)によると現在非進行形には瞬間的場面の1. 実況解説場面 (commentarial situations)、2. 実演解説場面 (demonstration situations) の2タイプがある。実況解説場面は文(6)のように1. スポーツの実況解説 (ラジオ、テレビで放送されているスポーツイベントなど)、文(7)のように2. 儀式の実況解説 (国王の結婚式、公式の葬式、他の儀式的行事など)、文(8)のように3. 語りの実況解説 (話者が自分自身に見えているものを伝える/双眼鏡を用いている場合もある、等) の3つに分けられる。

(6) a. Napier passes the ball to Attwater, who heads it straight into the goal! (Leech 1976:8)

b. Napier bömbögiig Attwatert damjuullaa attwater gool ruu shidlee.

(7) a. The Pope waves to the crowd from the balcony, turns round and re-enters the room.

(Williams 2002:1238)

b. Romiin Pap tagtan deerees tsuglasan olon luu garaaraa dallaad ergen orloo.

(8) a. She powders her nose, then she takes a long look at herself in the mirror. She puts on her

lipstick, then she takes another long look at herself in the mirror. She puts on her fur coat.
(Williams 2002:1249)

b. Ter hamraa budlaa/budaj baina. Odoо toлинд öörіigoo harlaa/harj baina. Uruulaa budlaa/budaj baina. Odoо toлинд harlaa/harj baina. Ter nehii deelee ömslöö/ömsöj baina.

2.2.2. 実演解説及び自己実況解説用法

Williams (2002:1237)によると、その出来事の正確な順序をすでに知っている発話者により一般的に長続きしない動作が表される場面がある。このような場面には手品師のおしゃべり、調理法の実演解説、コンピュータの操作説明などがある。

(9) a. Now, I put the cake-mixture into this bowl and add a drop of vanilla essence. (Leech 1971, Kunihiro 訳 1976:8-9)

b. Za, byaluuniihaа zuurmagiig ene tavgand hiigeed deerees ni neg dusal vaniliin shüüs nemne.

2.2.3. 特殊な詠嘆文

Leech (1971)によると現在時制の瞬間的用法はまた以下の文(10a)のような感嘆文に起こる。

(10) a. Here comes my bus! (Leech 2004:7)

b. Avtobus maani irlee.

2.2.4. 芝居的用法

Leech (1971, Kunihiro 訳(1976:9))によるとこの現在時制の用法は出来事の全体が報告されると同時に完了することを強調しているため、何か芝居がかかっていると感じられる。

(11) a. I open the cage. (Leech 2004:7)

b. Bi shuvuunyi toryig ongoilgoj baina.

2.2.5. 遂行文

Leech (1971, Kunihiro 訳(1976:10))は「この場合は出来事と発話行為が同時であるが、それは両者が同一のものであるという理由による」と述べている。遂行的場面に用いられる動詞はものを言うこと自体が一つの行為となっている *requist*、*advise*、*predict* 等のような発言行動を表す動詞が殆どである。

(12) a. I congratulate you. (Hirtle 1995:267)

b. Chamd bayar hürgeye.

英語と異なりモンゴル語ではこの現時点および発話時と同時に起こる出来事を表す瞬間的用法において単純非過去形(-na)はあまり用いられない。上記の実演解説および自己実況解説用法の文(9b)においてのみ単純非過去形(-na)が用いられる。Chaolu (1996:59-61)によると、モンゴル語の非過去時制接尾辞-naは動作動詞に付けると未来時に言及するため、発話時において出来事をひとまとまりの全体として表すことができないと考えられる。従って、発話直後にも伸びてゆくことがより普通である出来事として把握されている実演解説および自己実況解説用法においてのみ用いられる。

2.3. 現在習慣および反復的用法

Leech (1971、Kunihiro 訳(1976:12-13))は「習慣的現在是個々の‘出来事’の連続を表し、それは全体として‘状態’をなし、過去と未来に伸びている」と述べている。Song (1997:155-156)は接尾辞-na は現在の場面に言及する時習慣および進行のような不完結相の意味を表すと述べている。モンゴル語の単純非過去形(-na)は動作動詞と共に起る場合には未来時の出来事を表すことが基本的であるため、以下の文(13)のように反復を表す副詞が用いられているが、現在習慣/反復の意味を表しているか未来習慣/反復の意味を表しているかに関して曖昧になることがあり、そのような場合には共起する反復を表す副詞のみならず文脈をも考慮しなければならない。

(13) a. We go to Brusells every year. (Quirk et.al. 1985:179)

b. Bid Brusel ruu jil бүр yavna/yavdag.

現在習慣の意味を表すモンゴル語の単純非過去形(-na)は疑問文においてあまり用いられないが、以下の文(14a)のように「あることができるかどうか能力を問う意味を含意し、一体そうであるかどうか質問する場合」においてのみ用いられることがある。

(14) A: Ta yer ni tamhi tatna uu?/tatdag uu?/ Do you smoke?/

B: Tatnaa, tatna./Tatdag. / Yes, I do./

英語においては現在習慣を表すのが単純現在形のみであるのに対し、モンゴル語には現在習慣を表す動名詞語尾(-dag)と単純非過去形(-na)の2つがあり、前者は反復を表す副詞がなくてもまた文脈を考慮しなくても習慣の意味を表しているのかという点について曖昧になることがないため、後者に比べて無制限に頻繁に用いられる。

2.4. 指図を与える用法 (direction-giving)

Hirtle (1995:265, 270)によるとこの用法は指示パンフレットのみでなく、授業の前、あるいは新入者の訓練などの話し言葉においても現れる。

(15) a. You take the first turning on the left past the roundabout, then you cross a bridge and bear right until you reach the public library. (Leech 1971 Kunihiro 訳 1976:24)

b. Ta ayulgün toirgiig öngörööd, züün gar tiishee ergene/ergeerei/erge. Tegeed güüreer garaad, baruun gar tiish ergeheer nomiin san baigaa.

上記の文(15b)のようモンゴル語においては単純非過去形(-na)のみでなく勧告語尾(-aarai)、命令形、連用語尾なども用いることが可能であるため制限があると言える。

2.5. 未来時に言及する用法

2.5.1. 英語の単純現在形の未来時に言及する用法

Leech (1971、および Kunihiro 訳 1976:97-101、2004:63-66)によると、単純現在時制が未来時に言及するものとして、1.従属節における用法 (Subordinate future use)、2.未来用法 (Futurate use)の2つがあり、前者は以下の文(16a)のように条件、文(17a)のように時間、文(18a)のように様態を表す接続詞(if, unless, when, as soon as, as)などによって導かれる従属節、文(19a)のように that 節、文(20a)のように関係節に用いられ、後者は文(22a)のように事実と

しての未来を表す文、文(23a)のように 変更不可能と見なされる計画・取り決めを表す文、文(24a)のように未来の定的な場合を指す文に用いられる。

(16) a. I'll tell you if it hurts. (Leech 1971, Kunihiro 訳 1976:98)

b. Herev övdvöl bi chamd helne.

(17) a. When the spring comes, the swallows will return. (Leech 1971, Kunihiro 訳 1976:98)

b. Havar bolohoor haraatsainuud ergej irne.

(18) a. Next time do as she tells you. (Leech 2004:63)

b. Daraa udaa tüünii helsneer hiigeerei.

(19) a. Just suppose we miss the plane. (Leech 2004:64)

b. Bid ongotsnoosoo hotsorloo/hotsorson gej bod.

(20) a. The man she marries will have to be rich. (Leech 2004:64)

b. Tüünitei suuh hün bayan baih yostoi.

(21) a. I hope you (will) win. (Leech 2004:64)

b. Bi chamaig yalna gedegt itgeltei baina.

(22) a. Tomorrow is Saturday. (Leech 2004:65)

b. Margaash byamba garig.

(23) a. The train leaves at 7.30 this evening. (Leech 2004:65)

b. Galt tereg 7:30-d hödölnö.

(24) a. Right! We meet at Victoria at 9 o'clock, catch the fast train to Dover, have lunch at the Castle Restaurant, then walk across the cliffs to Deal. (Leech 2004:66)

b. Za tegeheer bügdeeree 9 tsagt Victoriad uulzaad, Dover luu yavah hurdan galt tergend suuna.

Tegeed Kasl Restorand üdiin hooloo ideed, Del хүrtel had asgatai gazraar yavna daa.

上記の文(16a,b)、(17a,b)、(18a,b)、(19a,b)のように従属節、(20a,b)のように関係節で用いられる英語の単純現在形(φ /-s)はモンゴル語において連用語尾、動名詞語尾、過去時制(-laa)などに対応する。しかし、文(21a,b)のように動詞の補部において用いられる英語の単純現在形はモンゴル語の単純非過去形に対応する場合がある。上記の文(23a,b)、(24a,b)のように未来用法において用いられる英語の単純現在形(φ /-s)はモンゴル語の単純非過去形(-na)に対応する。

2.5.2. モンゴル語の単純非過去形 (-na)の未来時に言及する用法

モンゴル語の単純非過去形(-na)は、未来時に言及する、1.未来用法、2.動詞の補部において、3.引用文、4.丁寧な要求の4つの場合に用いられる。

2.5.2.1. 未来用法

モンゴル語の単純非過去形(-na)は英語の単純現在形(φ /-s)とは異なり、以下の文(25a)、(26a)のように差し迫った未来つまり発話時直後に起こる出来事以外の未来の出来事をより制限なく表すことが可能である。

(25) a. Za bi ochloo. (Rowling 1998)

b. All right, I'm coming.

(26) a. Aliv hold. Bi ugaana/ugaaya.

b. Get away. I'll wash./Let me wash.

2.5.2.2. 動詞の補部において

(27) a. Bi chamaig udahgüi saijirna gej itgej baina.

b. I hope you are feeling better soon. (Huddleston、 Pullum 2005:45)

2.5.2.3 引用文において

(28) a. Aavyig margaash irne gej ah nadad helsen.

b. My brother said me tnat my father would come the day after.

2.5.2.4. 丁寧な要求を表す用法

Бадан (1989:42)によると未来時を表す非過去時制(-na)は疑問助詞(-uu)と共に起し、質疑の意味ではなく丁寧な要求を表す。

(29) a. Ахиад нэг ая барина уу. (Бадан 1989:42)

b. Could you sing one more please.

英語の単純現在形(φ/-s)は、未来時に言及する場合、変更不可能と見なされる計画・取り決めに用いられるという制限があるのに対し、モンゴル語の単純非過去形(-na)の用法においてはそのような制限はないが、差し迫った出来事においては英語の単純現在形は用いられないのに対し、モンゴル語の単純非過去形(-na)は用いられたり用いられなかったりする。さらに英語の単純現在形は条件節、様態節、時間副詞節、関係節、that節などに用いられるのに対し、原則としてモンゴル語の単純非過去形(-na)は引用文および hope、think、know などの動詞の補部としての従属節以外の従属節（条件節、時間副詞節、関係節、様態節など）においては現れない。

2.6. 両言語の過去時に言及する用法

柏野 (1999:15)は「歴史的現在が用いられるのは、1.日常の話し言葉の場合と、2.小説などの書き言葉の場合がある(Graver 1986:55)」と述べている。

2.6.1. 日常の話し言葉における歴史的現在用法

日常の話し言葉における歴史的現在用法には 1.過去時制で始まる語り体、2.情報伝達動詞、3.今でも効力のある過去の出来事、4.慣用的な表現の4種類の場面がある。

2.6.1.1. 過去時制で始まる語り体

以下の文(30a)、(31a)のように両言語において過去時制で始まる語り体の用法があり後続する歴史的現在形は状態を表す文、つまり背景文に用いられる。

(30) a. Saya zamdaa balarlaa. Neg shongiin modon deer zarlal baina. Avirch garaad unshsan chini...

b. A bad thing happened to me on my way. There is an notification on a tree. So I climb the tree and look at...

(31) a.I met Takeda yesterday. It was terrible. He is drunk. He speaks to anybody around him and says he is ready to make them happy. (<http://www.englishcafe.jp>)

b.Öchigdör bi Takedatai uulzlaa. Yostoi aimaar baisan. Ter shal sogtuu. Hün bolgontoi ochij yariad l ta бүhнийг аз яргалтай болгоход би belen shüü geed l.

Cowper (1998:14)によると英語の単純現在形は、以下の文(32a)のように習慣/総称的の意味を表す。

(32) a.During my last year of teaching before I retired a strange thing happened.One of my students walks into the office and asks to speak to me. I always get to work yearly, so I do have time to talk to her....(Cowper 1998:14)

b.Namaig tetgevertee gardgiin urd jil negen sonin yavdal болсон yum. Manai neg oyutan manai ажлын өрөөнд орж иreed tand neg yarih зүйл байна gelee.Bi ter үyed dandaa ert ажилдаа ochdog baisan болохоор nadad түүнтей yariltsah tsag baisan yum....

2.6.1.2.情報伝達動詞

Leech (1971、Kunihiro 訳(1976:15))は「...動詞 tell、write、say は過去における伝言の起点に言及している。したがって過去あるいは完了時制が当然期待される場所である。しかし、動詞の意味は伝言の起点から終点に移されているように思われる。伝達はそれを受けた人にとってはまだ働いているので、それで現在時制が許されるのである」と述べている。安藤(1996:77)はask、say、tell、write 等のような動詞を「発言動詞」と呼び、learn、hear、find、read、be told などのような動詞を「受信動詞」と呼んで区別している。

(33) a.The ten o'clock news says that there`s going to be a bad storm. (Quirk et.al. 1985 :181)

b.Ayultai shuurga bolno gej 10 tsagiin medeeger hellee/helsen/helj байна.

(34) a.I hear that poor Mr Simpson has gone into hospital. (Quirk et.al.1985:181)

b.Hoorhii muu noyon Simpson emnelegt hevtsen gej bi sonsloo.

上記の用法はモンゴル語にはあまり存在しないが、以下の文(35a)のように単純非過去形(-na)は「言う」という意味を表す不完全動詞「ge-」と共起し、過去時を表す場合がある。

(35) a.Tegeed Loghart yum sonsoogüi gene üü?

b.“And Lochart said he could not hear it?” (Rowling 1998)

2.6.1.3.今でも効力のある過去の出来事

以下の文(36a)においても Leech (1971)によると現在時制を同じように拡張して、厳密に歴史的な見地からは過去に属する情報を含んでいる。

(36) a.The book of Genesis speaks of the terrible fate of Sodom and Gomorrah. (Quirk 1985:181)

b.Genesiin nomond Sodom Gomorra hoyoriin emgenelt huvi tavilangiin tuhai ogүүлjee.

2.6.1.4. 慣用的な表現

(38) a.She walked over and kissed him on the cheek.“What brings you home so early, darling?” (柏野 1999:18)

b.Chamaig mini yu ingej ih ert gertee irehed hürgev dee, hongor mini geed ter tüün rüü hürch iren hatsar deer ni ünsev.

上記の文(30a,b)~(38a,b)において、英語の単純現在形およびモンゴル語の単純非過去形(-na)両方とも日常の話し言葉における歴史的現在用法を持っているが、相互的に対応する例が余りないことが分かる。

2.6.2.書き言葉における歴史的現在用法および虚構的用法

書き言葉においては歴史的現在用法および虚構的用法の2つがある。虚構的用法が用いられるのは1.小説の地の文、2.台本のト書きの2つであり、歴史的現在用法が用いられるのは1.見出し、2.要訳、3.参照の3つである。

2.6.2.1.書き言葉における虚構的用法

2.6.2.1.1.小説の地の文において

英語の単純現在形およびモンゴル語の単純非過去形(-na)が小説の地の文において前景場面および背景場面を表すという2つに分けて述べることにする。

2.6.2.1.1.1.前景場面を表す

以下の文(39a)のように英語の単純現在形は過去の連続して起こった出来事を表す。

(39) a.Mr.Tulkinghorn takes out his papers, asks permission to place them on a golden talisman of a table at my Lady's elbow, puts on his spectacles, and begins to read by the light of a shaded lamp. (Dickens, Bleak House,Chapter 2) (Leech 2004:16)

b.Noyon Tulkinhorn bichgee gargaj iren hadagtain yag hajuud baigaa altan sahius shig jijig shireen deer tavij boloh esehiig asuugaad nüdnii shilee züün bürhüültei gerliin dor suun unshij ehlev.

モンゴル語の単純非過去形(-na)は連続して起こった出来事を表す用法を持っていない。

2.6.2.1.1.2.背景場面を表す (過去の状態、進行、習慣)

以下の文(40a)のように英語の単純現在形(ϕ /-s)は過去の状態を表す文において用いられる。

(40) a.He gets up to make himself a drink at the bar and Beth comes in from the kitchen. She looks tired; ... (J.Guest, Ordinary People). (柏野 1999:15)

b.Ter teknees öörtöö uuh yum avahaar bosohod Bet galt togoonoos orj irev.Ter ih yadarsan haragdana/haragdaj bailaa..

モンゴル語の単純非過去形(-na)は以下の文(41a)のように過去の状態、文(42a)のように過去の習慣/反復的出来事、文(43a)のように過去の進行的出来事を表す。

(41) a.Harri Hogwardaas ch, kwidich toglohoos ch ilüütei geer ööriin and Ron Viizli, Hermione Granjer nariig ügüilne. (Rowling 1998)

b.More than anything else at Hogwards, more even than playing Quidditch, Harry missed his best friends, Ron Weasley and Hermione Granger.

(42) a.Harri Ron hoyor tüün deer oroi бүр irne.

b. Harry and Ron went to visit her every evening. (Rowling 1998)

(43) a. Ergen toiron targaan tsagaan tahianuud yu ch yum be tonshin tongolzono.

b. Several fat brown chickens were pecking their way around the yard. (Rowling 1998)

2.6.2.1.2. 台本のト書き

英語の単純現在形およびモンゴル語の単純非過去形(-na)は両方ともト書きの用法を持っている。

(44) a. Mallinson enters. The girls immediately pretend to be working hard. (Quirk et.al. 1985:183)

b. Mallinson orj irne. Ohiduud ter darui shurguu ajillaj bui dür esgene.

2.6.2.2. 書き言葉における歴史的現在用法

以下の文(45a)~(47a)のように英語の単純現在形は歴史的現在用法として見出し、要訳、参照などに用いられる。

(45) a. Ex champ dies. (Leech 1971, Kunihiro 訳 1976:17)

b. Eks avarga nas barjee.

(46) a. Father O` Brien gives his first blessing. (Leech 1971, Kunihiro 訳 1976:17)

b. Etseg O Brein anhnyi adislalaa ögch baigaa ni./ögsön ni.

(47) a. The problem was/is discussed in Chapter 1. (Quirk et.al. 1985:182)

b. Asuudliig deerh hoyordugaar bülegt ogüülev.

上記によると、モンゴル語においては歴史的現在としての単純非過去形(-na)は日常の話し言葉における歴史的現在用法の過去時制で始まる語り体において背景(状態、習慣)を表し、情報伝達動詞としての不完全動詞 ge-のみしか用いられない。また、書き言葉における歴史的現在用法および虚構的用法の虚構的用法においては、物語の地の文における背景(状態、進行、習慣)を表す場合のみ、また劇等のト書きにおいて用いられる。それに対し、英語の単純現在形は日常の話し言葉における歴史的現在用法の過去時制で始まる語り体において前景、背景(状態、習慣)両方を表し、書き言葉における虚構的用法としての物語の地の文においても前景、背景(状態、習慣)両方とも表すのに用いられる。書き言葉における歴史的現在用法においてはモンゴル語の単純非過去形(-na)は用いられない。

2.7. モンゴル語の単純非過去形(-na)の進行的用法

モンゴル語の単純非過去形(-na)の進行的用法には、1.話し言葉つまり発話時における進行的用法と、2.書き言葉つまり小説の地の文における想像上の過去進行的用法(この用法に関しては上記の節 3.6.2.1.書き言葉における虚構的用法を参照)の2つがある。

2.7.1. 話し言葉つまり発話時における進行的用法

この用法には、以下の文(48a)のように動詞 yav-と共起し、発話時における進行的出来事を表す肯定文において、および以下の文(49a)のように疑問助詞(be/ve)と共起し、yund、yagaad、yuなどの疑問詞がある疑問文に用いられ、発話時に起こる出来事としての特別疑問文において用いられる2つの場合があると考えられる。

(48) a. Энэ ууланд морь явна. (Лувсанвандан 1987:162)

b. A horse is walking on this mountain.

(49) a. Chi yund ineene ve?

b. Why are you laughing?

3.まとめ

本稿では、英語の単純現在形 (-*φ* /-s) およびモンゴル語の単純非過去形 (-na) の意味・用法を考察した結果、英語の単純現在形 (*φ* /-s) およびモンゴル語の単純非過去形(-na)は完結、非完結の意味に区分できる 1.現在状态的用法、2.現在瞬間的用法、3.現在習慣および反復的用法、4. 進行的用法 (モンゴル語のみ)、5. 指図を与える用法、6.未来時に言及する用法、7.過去時に言及する用法を持っており互いにかなり似通っていること、さらに、過去時、現在時、未来時3つに言及する点において共通であることを明らかにした。一方、用法ごとに詳細に考察すると異なる点も多くあることが判明した。

参考文献

安藤(1996) 『英語学の視点』東京、開拓。

Г. Бадан(1989) “Категория времени в современном монгольском литературном языке”, Wydawnictwa Uniwersytetu Warszawskiego Warszawa. ISBN 83-230-0273-8.

Chaolu Wu (ijiediin Chuluu)(1996)A survey of tense suffixes in Mongolian languages., *Central asiatic journal :International periodical for the languages, literature, History and Archaeology of central Asia* 40,Harrassowitz Verlag · Wiesbaden.

Cowper, E. (1998) The simple present tense in English: A unified treatment. *Studia linguistica* 52 (1), pp.1-18.

Hirtle, W.H.(1995) The simple form again: An analysis of direction-giving and related uses. *Journal of Pragmatics* 24, pp.265-281.

Huddleston R.D., Pullum G.K.(2005) *A student's introduction to English grammar*. Cambridge university. ISBN 0-521-848377.

Leech, G.N. (1971) 『意味と英語動詞』 (Kunihiro 訳 1976) 大修館書店。

Leech, G.N. (2004) *Meaning and the English verb*. Pearson Education Limited, Great Britain, ISBN 978-0-582-78457-4.

Ш. Лувсанвандан(1987) “Орчин цагийн монгол хэлний үг зүйн байгуулалт: Монгол хэлний үйл үгийн тогтолцоо”, БНМАУ-ын ШУА-ийн хэл зохиолын хүрээлэн УБДС-ийн Монгол хэлний тэнхим БНМАУ-ын Ардын боловсролын яамны сурах бичиг, сэтгүүлийн нэгдсэн редакцийн газар.

Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartik. (1985) *A Comprehensive Grammar of The English Language*. London: Longman. ISBN0-582-51734-6.

Rowling, J.K. (1998) *Harry Potter and the Chamber of Secrets*., London: Bloomsbury. trans: Myandas, N., Batsoyombo, Ts. (2011), “Харри Поттер ба нууцат өрөө”, UB: NEPKO publishing.

Song, Jae-Mog. (1997) *Tense, Aspect and Modality in Khalkha Mongolian*., University of London, PhD dissertation.

Williams, C. (2002) Non -progressive aspect in English in commentaries and demonstrations using the present tense. *Journal of Pragmatics* 34, pp.1235-1256.

柏野健次(1999) 『テンスとアスペクトの語法』 開拓社. ISBN4-7589-1805-8 C3382.